

言語・数理運用科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成22年10月〇日(〇)

2 学年・学級 第5学年〇組

3 単元名 「お好み焼きの材料を買いに行こう」

4 単元について

○ 本単元は、スーパーの広告から必要な情報を取り出し、広告の制作者の意図や工夫を考えたり、お好み焼きに必要な材料を買う場合の代金を四則計算を活用して考えたり、これらの学習をもとに、意図や工夫をもって自分で広告に表現したりすることを目標とした単元である。

お好み焼きという身近な食べ物が題材であり、児童の学習意欲を喚起しやすい教材である。また、必要な材料の適切な分量を調べたり、上手により安く買う方法や代金をより簡単に計算する方法を考えたりすることは、日常生活において必要な力であり、本単元はその力を養うことができる教材である。

○ 本学級の児童は、全体的に算数科が苦手な児童が多い。計算問題のように答がはっきりしているものでは、意欲的に発表する児童が多いが、考え方を説明する場面になると発表しようとする児童が限られてしまう。言語・数理運用科の授業では、意欲的に学習に取り組む児童がいる一方、説明を聞いただけでは何をしたいのかわからない児童もおり、情報を取り出す力や思考・判断する力に個人差が見られる。

○ 指導にあたっては、お好み焼きの材料代を計算する活動では、筋道を立てて考え、計算できるようにワークシートを工夫し、自分の考えを理由や計算方法がわかりやすくするようにする。また、配慮が必要な児童には、「ヒントカード」を用意し、思考しやすいようにする。値段を発表する場面では、ペアトークを通して、考えをより深めるとともに、自分の考えに自信を持たせたり、思考や計算方法の見直しをしたりすることで、全体の中で自信をもって発表することができるようにしたい。また、実物の材料を提示したり、学習後にお好み焼きを作る活動を取り入れたりして、課題に対して意欲的に取り組むことができるようにしていき、日常生活で既習事項を生かしていけるように指導をしていきたい。

5 単元の目標

○ スーパーの広告から必要な情報を取り出し、広告の制作者の意図や工夫を考えたり、お好み焼きに必要な材料を買う場合の代金を四則計算を活用して考えたり、これらの学習をもとに、意図や工夫をもって自分で広告に表現したりすることができる。

6 単元の評価規準

情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
○ スーパーの広告の数値，言語などの表現から，広告の制作者の意図や工夫を取り出す。	○ 広告から取り出した情報について，四則計算を活用して数学的に処理して考える。	○ 理由を明確にして，スーパーの広告に表現する。

7 単元の指導計画(全5時間)

時	学習内容	情	思	表	評価規準
1	スーパーの広告から情報を取り出し，制作者の意図や工夫を考える。	○			スーパーの広告の数値，言語などの表現から，広告の制作者の意図や工夫を取り出すことができる。
2 3 4 5 （本時）	広告の意図や工夫を考慮しながら，材料表と関連させて，お好みの材料（そば，キャベツ，小麦粉）を購入する場合の金額を四則計算を活用して考え，考え方を交流する。		○		広告から取り出した情報について，四則計算を活用して数学的に処理して考えることができる。
4 5	広告の意図や工夫を考慮しながら，与えられた条件をもとにスーパーの広告を作成し，交流する。			○	理由を明確にして，スーパーの広告に表現することができる。

8 本時の目標

- お好み焼きの材料表と関連させながら，式や数値などを使い自分なりの考えを持って，材料を購入する金額を求めることができる。【思考・判断する力】

9 本時の評価規準

評価の観点	評価	具体的評価規準	児童の姿
思考・判断する力	A	スーパーの広告から，代金に関する情報を取り出し，図に書いたり，計算したりして，筋道を立てて小麦粉やキャベツの代金を正確に求めることができる。	小麦粉とキャベツの代金を自分の購入の仕方ですべて正確に計算している。
	B	スーパーの広告から，代金に関する情報を取り出し，小麦粉やキャベツの代金を求めることができる。	小麦粉とキャベツの代金を自分の購入の仕方ですべて1つ以上計算している。

10 本時の指導過程と評価

	学習活動 ◆発問（指示） □児童の反応	○指導と支援 ◎評価（見取り）
導 入	<p>1. 前時の学習を振り返り，本時の課題を知る。</p> <p>◆焼きそばの買い方を思い出しましょう。</p> <p>□3袋で87円だった。</p> <p>□4袋買うと98円で1袋あたりが安い。</p> <p>◆「スーパーひろしま」でお好み焼きに使う33人分の材料を買います。値段はいくらになるか考えましょう。</p>	<p>○前時にしたことを想起し，今日の学習につなげる。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">33人分のお好み焼きの材料の買い方を考えよう。</div>	
展 開	<p>2. お好み焼きの材料表から，お好み焼きの1人分の量を読み取り，広告のスーパーで材料を買う計算をする。</p> <p>◆まずは，小麦粉を買います。33人分の量はどれだけ必要で，広告をもとにどのように買って，合計の値段はいくらになるでしょうか。</p> <p>□小麦粉は1人分20gで，33人だから， $20(g) \times 33(人) = 660(g)$</p> <p>□一袋は1kgだから $1000(g) \div 20(g) = 50(人)$ なので50人分とれる。</p> <p>□1kgの小麦粉を一袋買ったらいいから188円です。</p> <p>◆次に，キャベツを買います。量はどれだけ必要で，どのように買って，値段はいくらになるのでしょうか。ワークシートに考えを書いてみましょう。</p> <p>□キャベツ1玉は4人分だから $33(人) \div 4(人) = 8(玉) \text{あまり} 1$</p> <p>□8玉と1/4必要だ。</p> <p>□野菜は多めにして9玉入れてもいいな。</p> <p>□8玉でもたくさんあるからいいのでは？</p>	<p>○考える時間を確保し，1人分の量から33人分の量を考えさせ，値段を求めさせる。</p> <p>○売っている小麦粉は1kgなので，この小麦粉から何人分取れるか計算して求める方法も大切にしたい。</p> <p>○ワークシートに書かせる。</p> <p>◎小麦粉33人分の代金の求め方を考え，計算することができる。</p> <p>○ワークシートに書かせるようにする。</p> <p>○キャベツは1玉単位で購入するので，1玉が何人分かに気付かせることにより，キャベツを何玉買えばいいか考えさせる。</p> <p>○計算上は，8玉買うと1人分キャベツが足りず9玉必要だが，8玉で33人分でもお好み焼きを作るのに大きな影響はないので8玉購入するという考え方も認める。</p> <p>◎キャベツ33人分の代金の求め方を考え，計算している。</p>

	<p>◆隣の人と自分の考えを伝え合いましょう。 相手の考えを聞き終わったら、必ず意見や質問・感想を言いましょう。</p> <p>◆友達の考えを聞いて、自分の考えや計算を直したい人は少し時間をとるので直してください。</p> <p>◆自分の考えを発表してみましょう。</p> <p><input type="checkbox"/> 9玉買って 158(円)×9(玉)=1422(円)です。 そして9玉全部使います。</p> <p><input type="checkbox"/> 私は9玉買うけど、きちんと8玉と1/4を使います。</p> <p><input type="checkbox"/> ぼくは8玉買って 158(円)×8(玉)=1264(円)です。 少し少ないけどがまんします。</p>	<p>○ワークシートを提示装置で見せながら説明させる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>3. 学習のまとめをする。</p> <p>◆材料の値段を求める計算をしてどんなことを思いましたか。</p> <p><input type="checkbox"/> 買い方によって値段が変わることがわかった。</p>	

10 板書計画

<p>33人分のお好み焼きの材料の買い方を考えよう。</p>		
<p>小麦粉</p>	<p>キャベツ</p>	<p>スーパーひろしまの広告</p>
<p>・量はどれだけ必要？ 20(g)×33(人)=660(g)</p> <p>・どのように買う？ 1kg=1000g 1000(g)÷20(人)=50(人分)</p> <p>・値段はいくら？ 一袋だから188円</p>	<p>・量はどれだけ必要？ 33(人)÷4(人)=8(グループ)あまり1 あまり1は、一人分の1/4玉</p> <p>・どのように買う？ 8玉と1/4必要。 9玉買う。 8玉買う。</p> <p>・値段はいくら？ 158(円)×9(玉)=1422円。 158(円)×8(玉)=1264円</p>	<p>お好み焼きの材料表</p>